

「18祭」というNHKの企画があります。2016年から始まった1000人の18歳の若者とアーティストが一夜限りのパフォーマンスを行うイベントです。参加した18歳世代から出された心の声をアーティストが受け止め、楽曲をつくりあげていく様は、1000人の若者とアーティストだけでなく、観ている私も心と心が「共鳴」して本当に感動的です。これまで BUMP OF CHICKEN の「窓の中から」や WANIMA の「シグナル」、そして先日の卒業式で3年生が合唱してくれた RADWINPS の「正解」など、どの曲もこれからずっと歌い継がれていくだろう素晴らしい曲ばかりです。ですから、毎年「18祭」に注目していました。一番新しいのが、今年の11月に発表された YOASOBI の「HEART BEAT」です。この曲から「自分の心のうちを自分自身で見つめること」「どんなに難しいことや不安なことがあったとしても自分自身の中にある自分の心の声に耳を傾けて進むこと」「心配せずとも自分が求めているものは自分の近くにきっとあること」など前に進んでいくエネルギーを感じることができます。令和5年度が終わります。「なりたい自分」を思い描き、太宰府東中「みんなで」大きく成長してきました。本当に素晴らしい1年でした。4月から新たにスタートする令和6年度。「共鳴」し合える仲間が、すぐとなりになります。誰でもない「自分」、どの中学校でもない「太宰府東中学校」に誇りをもち、もっともっとお互いの心が「共鳴」しあうことのできる学校を「みんなで」創っていきましょう。

HEART BEAT

《中略》

きっと飛び跳ねる心臓が鳴らした音は
僕にとって本当に大切なものを
教えてくれていたんだずっと
いつだって誰かに貼られた「らしさ」は要らない

どこまでも響け 僕のハートビート
誰でもない 自分の証
誇らしく鳴らせ 張り裂けそうな心で鳴らせ
世界で一つの証

ずっと遠くに見ていた ずっと先の未来は
ずっと近くに来ている ずっと近くにあったんだ
ずっと ずっと
ずっと前から僕が探していたものは
ずっと近くにあったんだ
ずっとずっと
これは始まりの合図だ

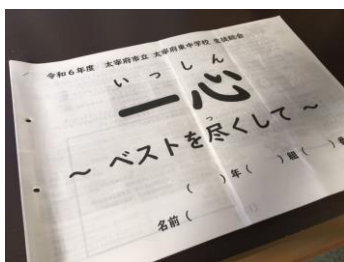


卒業生94名の晴れやかな門出でした！

3月8日（金）第37回卒業証書授与式が行われました。4年ぶりに全校生徒が参加することができ、1、2年生にとって自分たちの手にバトンが渡されたという実感することのできた時間でした。卒業式での3年生の堂々とした姿は本当に輝いていました。担任の先生の呼名に対して、体育館に響き渡る大きな声で返事から中学校3年間の集大成だという気持ちを感じることができました。卒業生代表の高祖莉菜さんの答辞や在校生代表の東原花恋さんの送辞の中には「成長」「尊敬」「感謝」「愛」「勇気」などが溢れんばかりに表現されていました。また、卒業生の「仰げば尊し」「正解」の合唱。そして、卒業生と在校生が共に歌う最後の校歌。大きく力強く豊かな歌声は、体育館にいた参加者の心を強く揺さぶり、感動的な時間でした。卒業生94名の輝かしい未来に幸多からんことを心から祈っています。



令和6年度第38期生徒会スローガン「一心～ベストを尽くして～」に決定！



3月12日（火）に、生徒総会がありました。体育館に全体が集まり提案に対する率直な質問や意見を出したり、もっと前向きに取り組む活性化できるような改善案を出したりする姿から、これまで第37期生徒会からバトンをつなぎ、さらに発展させていこうとする勢いを感じることができました。令和6年度の生徒会スローガンは「一心～ベストを尽くして～」です。「一人一人がもっている『こうしたい』『こうなりたい』と思っていることをそれぞれが最大限出し合い、太宰府東中全員が心をついに繋がっていくことによって、さらなる高みにのぼっていきける」。このスローガンに込められた思いを全校生徒が確認し、まさに「一心」に前進していくのだという決意を感じました。令和6年度「全員が全力な学校」になっていっている様子が、今から目のまえに浮かんで来て、わくわくが止まりません。